

2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

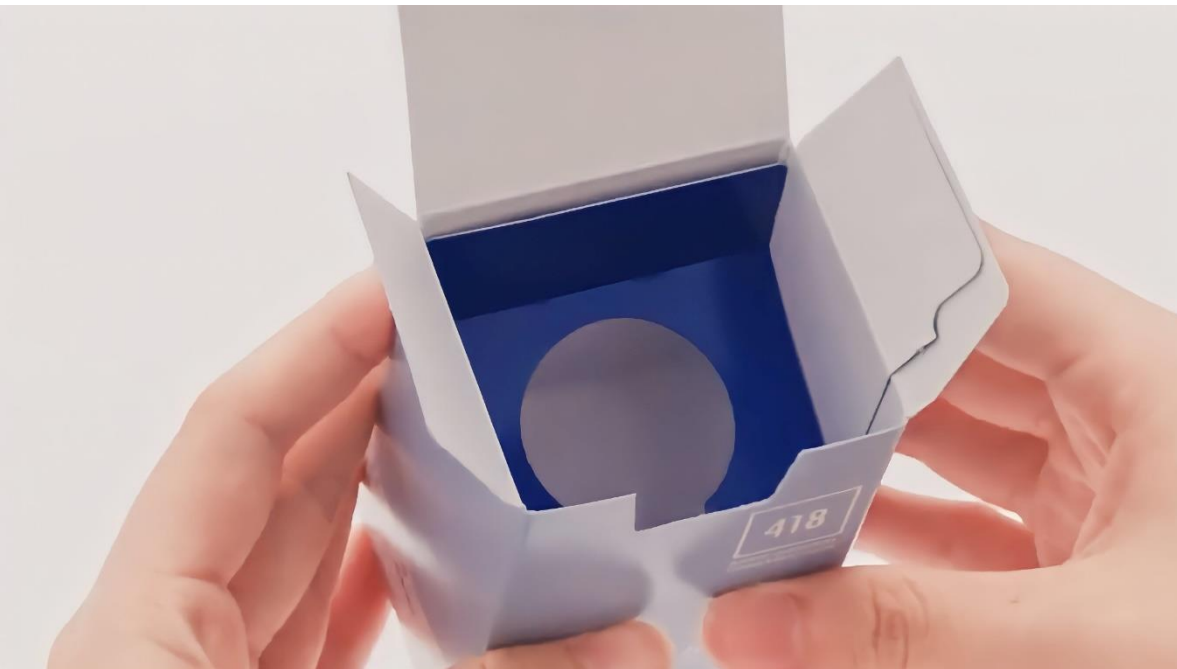
2024年2月13日



 朝日印刷株式会社

ASAHI PRINTING CO., LTD.

1. 2024年3月期 第3四半期 決算概要 P3
2. 2024年3月期 業績予想 P5
3. 朝日印刷を取り巻く環境 P9
4. 中期経営計画 AX2024 P13
5. 配当方針について P19
6. 参考資料 P22



1. 決算概要

◆印刷包材事業：国内における医療用添付文書の電子化による医療用医薬品向け製品の受注減少及び原材料等の費用の増加があったものの、海外子会社（Harleigh (Malaysia) Sdn.Bhd.及びShin-Nippon Industries Sdn.Bhd.）において、第2四半期に引き続き受注が好調に推移

◆包装システム販売事業：概ね計画通りに進捗しているものの、受注案件の大型化による長納期化により売上減少（百万円）

	2024/3期 4-12月		2023/3期 4-12月		前期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
売上高	31,309	100	29,617	100	1,691	5.7
印刷包材事業	29,318	93.6	27,461	92.7	1,857	6.8
包装システム 販売事業	1,603	5.1	1,847	6.2	▲ 243	▲ 13.2
人材派遣事業	386	1.2	308	1.0	78	25.3
営業利益	1,581	5.1	1,771	6.0	▲ 189	▲ 10.7
経常利益	1,708	5.5	2,043	6.9	▲ 335	▲ 16.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,169	3.7	1,399	4.7	▲ 229	▲ 16.4

2. 業績予想



- ◆増収減益にて計画。OTCや化粧品市場でのインバウンド効果で増収見込み。
 原材料・諸資材等のコスト転嫁の見極め必要であり減益で計画。
 大型投資はひと段落で、償却負担・設備投資は減少。

(百万円)

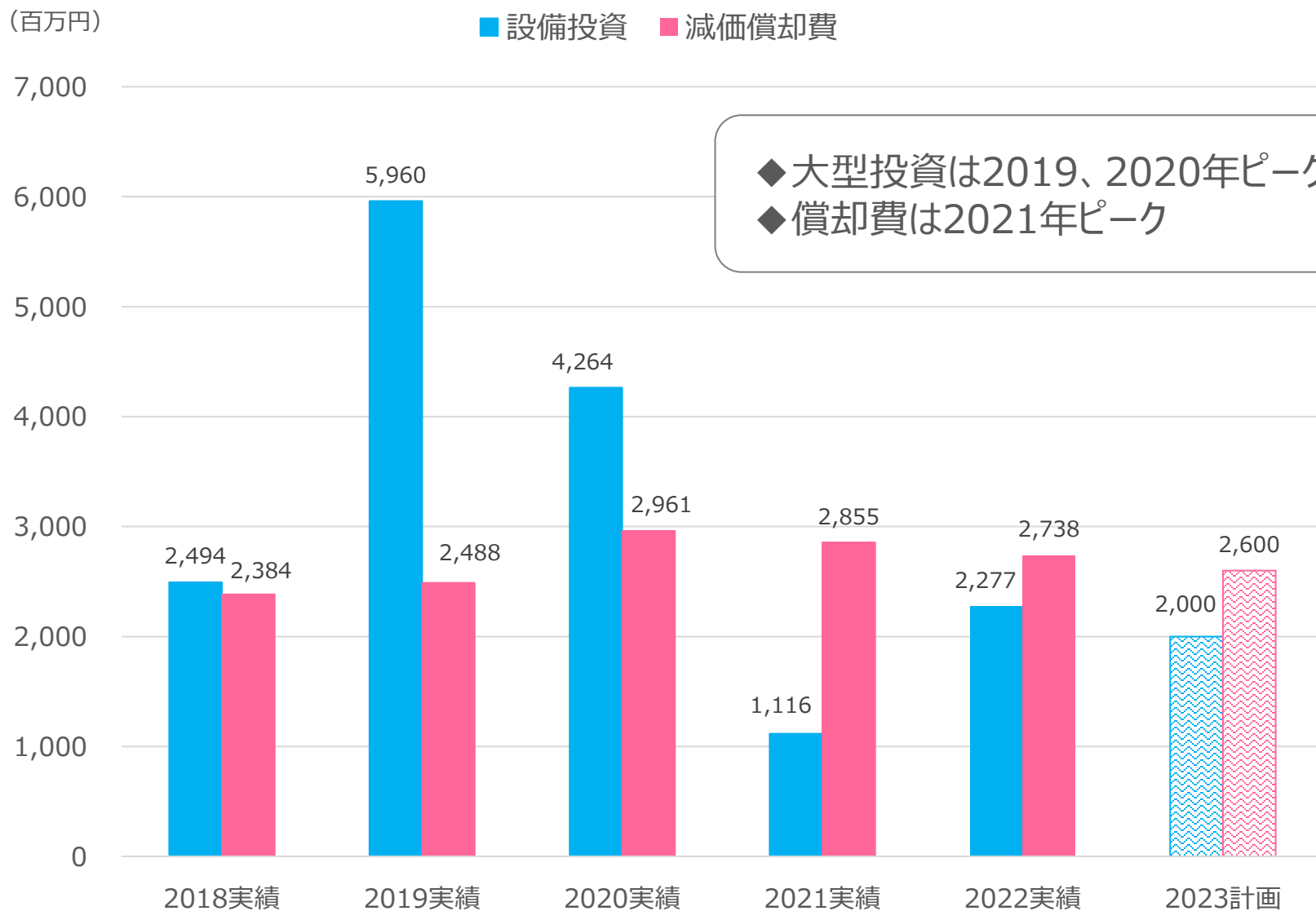
	2024/3期 予想		2023/3期		前期比増減	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	%
売上高	41,000	100	40,302	100	698	1.7
営業利益	2,200	5.4	2,259	5.6	▲ 59	▲ 2.6
経常利益	2,400	5.9	2,535	6.3	▲ 135	▲ 5.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,665	4.1	1,707	4.2	▲ 42	▲ 2.5
EPS (円)	76.42	—	78.38	—	▲ 2.0	—
ROA	2.9	—	2.6	—	0.3	—
ROE	5.4	—	5.4	—	0	—
減価償却費	2,600	—	2,738	—	▲ 138	—
設備投資額	2,000	—	2,277	—	▲ 277	—

(百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 3Q実績	2024年3月期 予想	進捗率
売上高	40,302	31,309	41,000	76.4%
営業利益	2,259	1,581	2,200	71.9%
経常利益	2,535	1,708	2,400	71.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,707	1,169	1,665	70.2%

売上高は、印刷包材事業の順調な推移により、概ね計画通りに進捗

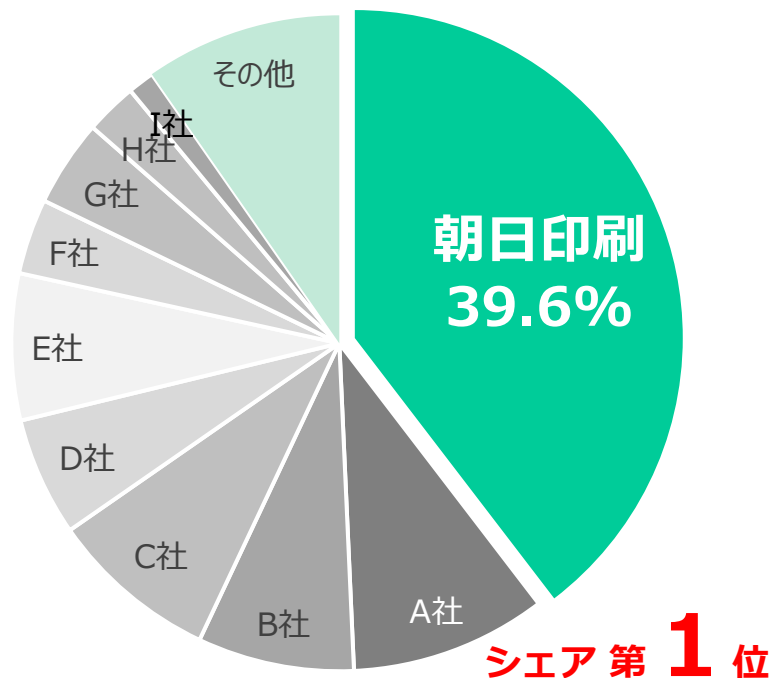
利益面は、海外子会社の受注が好調に推移した一方で原材料等のコストアップの影響により、当初計画を下回る水準で推移





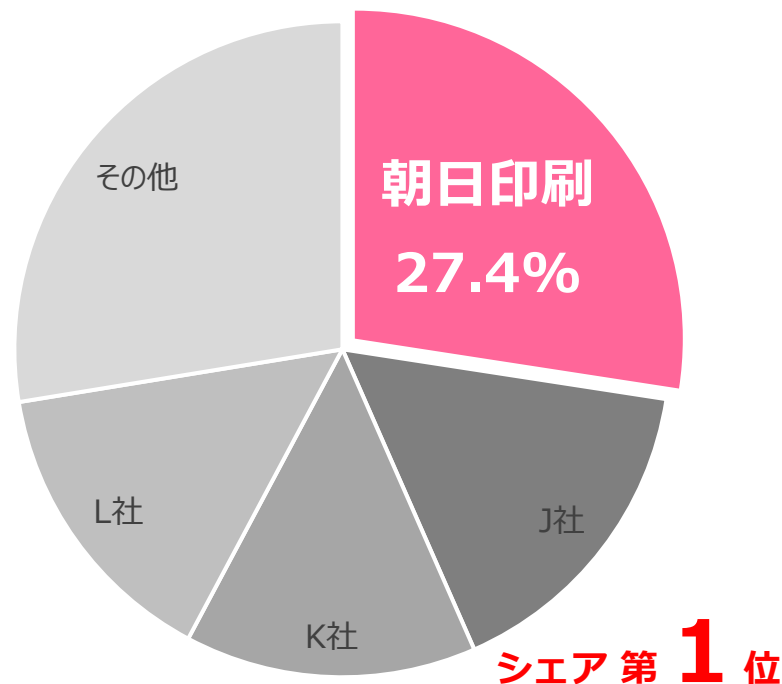
3. 朝日印刷を 取り巻く環境

医薬品 印刷包材市場 推定市場規模 (66,500百万円) ※



2021.3	2022.3	2023.3
40.6%	39.6%	39.6%

化粧品 印刷包材市場 推定市場規模 (26,200百万円) ※

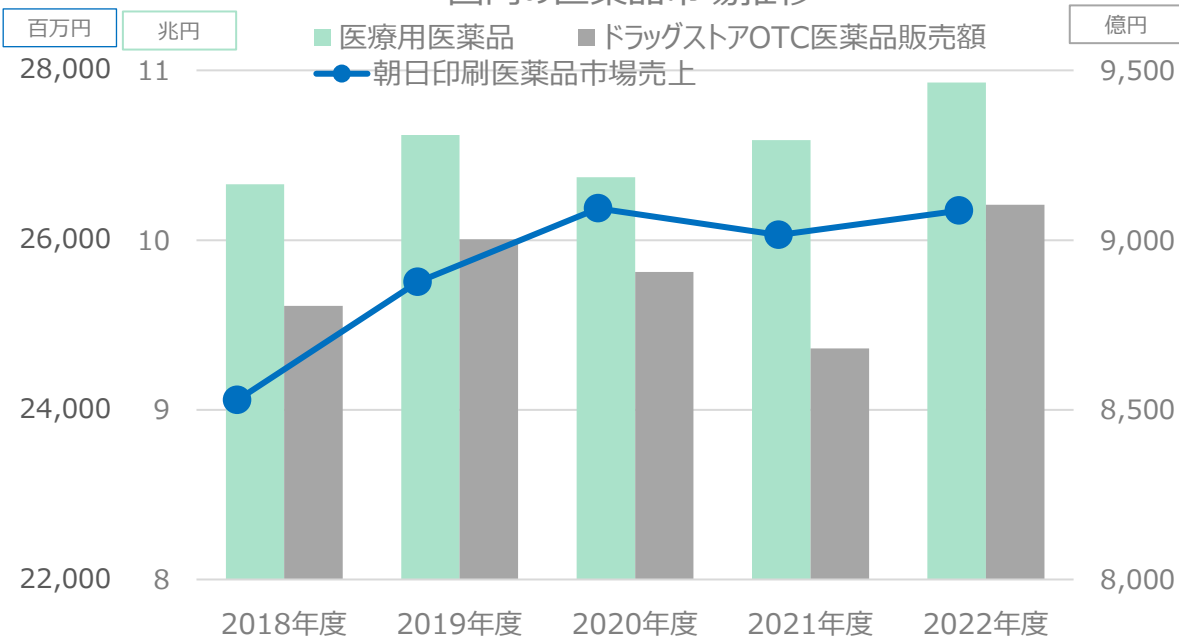


2021.3	2022.3	2023.3
24.8%	27.3%	27.4%

※Copyright ©株式会社矢野経済研究所

- **偏りのない数多くの得意先**との取引 (トップの得意先で売上の **3%** 程度)
 - 国内製薬メーカー (外資系を含む) **上位 100社中 94社** との直接取引
 - 国内化粧品メーカー (外資系を含む) **上位 30社中 21社** との直接取引
- 全国 20 拠点の販売網による **地域密着型の提案型営業** (得意先の 90%以上が 50km圏内)

国内の医薬品市場推移



医療用医薬品 Copyright © 2022 IQVIA. All rights reserved
OTC医薬品 Copyright © 経済産業省

当社予測

医薬品使用量は、感染症の影響を受けたものの、高齢人口増加、GE普及促進、薬の品目増加により、当面の間 **増加** する

医療用医薬品

医療用医薬品

- 医療用医薬品の国内市場は11兆円
高齢化の進展、感染症対応関連製品含め**堅調に推移**
- 医療用添付文書の電子化による**同梱廃止に伴う売上減少**は計画折込済

ジェネリック医薬品

- 市場規模は2023年には2018年対比で**30%**拡大
- バイオシミラーやオーソライズドGEの品目数倍増
- サプライチェーンの混乱と製品供給不足の動向

OTC医薬品

■ 感染症の影響により2020年、2021年と減少が続いたが、感染対策の見直し、行動制限の解除により、落ち込んでいた胃腸薬・ドリンク類が回復。また、インバウンド需要による総合感冒薬の回復等あり、2022年後半より増加傾向

■ スイッチOTC増加に向け、薬局・ドラッグストアでの体制整備やセルフメディケーションの広がりがカギに

市場環境

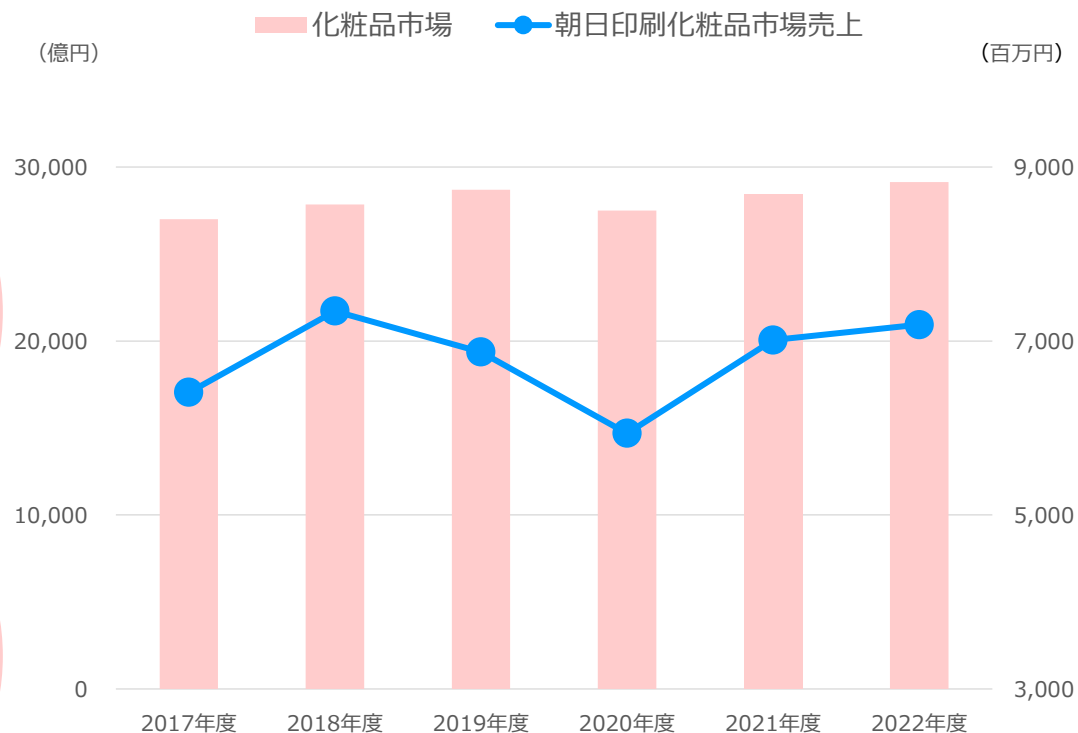
行動制限解除による
インバウンド需要の
高まり

マスク緩和による
メーキャップ製品の
回復

MADE IN
JAPANの
ブランド価値向上
(国内生産への
回帰)

化粧品メーカー
越境EC対応拡充

国内の化粧品市場規模と朝日印刷化粧品市場売上の推移



Copyright ©富士経済グループ 国内化粧品市場調査

国内生産回帰、
化粧品需要は回復の傾向

4. 中期経営計画

AX2024

AX2024スローガン

包むところを大切に 新たな第一歩を

経営理念

お客様本位を基本とし、
企業の永続成長と従業員の幸福とが一致する経営を目指します。

使命
Mission

包むところを大切にし、安心・安全と美を追求した商品・サービスを提供することで社会に貢献します。

目指す姿
Vision

包装の価値創出企業として、日本と世界へ新しい包装文化を発信します。
朝日印刷グループで働く世界中のだれもの子供や孫の世代が「入社したい」と思うような会社を目指します。

行動指針
Value

私達は12の行動指針の元に、社会・お客様へ対して価値創出とミッションを果たします。

中期経営計画 AX2024

5つの戦略

市場深耕拡大 / 付加価値最大化 / ワークエンゲージメント /
海外事業推進 / 経営資源活用

「包むころを大切に 新たな第一歩を」をスローガンに以下の5つの事業戦略を実行することで、お客様へ対して包装の揺るぎない付加価値を創出し、朝日印刷グループ全体の企業価値向上に努めてまいります。

「AX2024」 5つの戦略

市場深耕拡大

医薬・化粧品市場の戦略的シェア拡大と新しい事業領域への挑戦
(ラベル事業強化 / 包装システム / 新事業)

付加価値最大化

仕事の最大効率化とお客様への付加価値を極める

ワークエンゲージメント

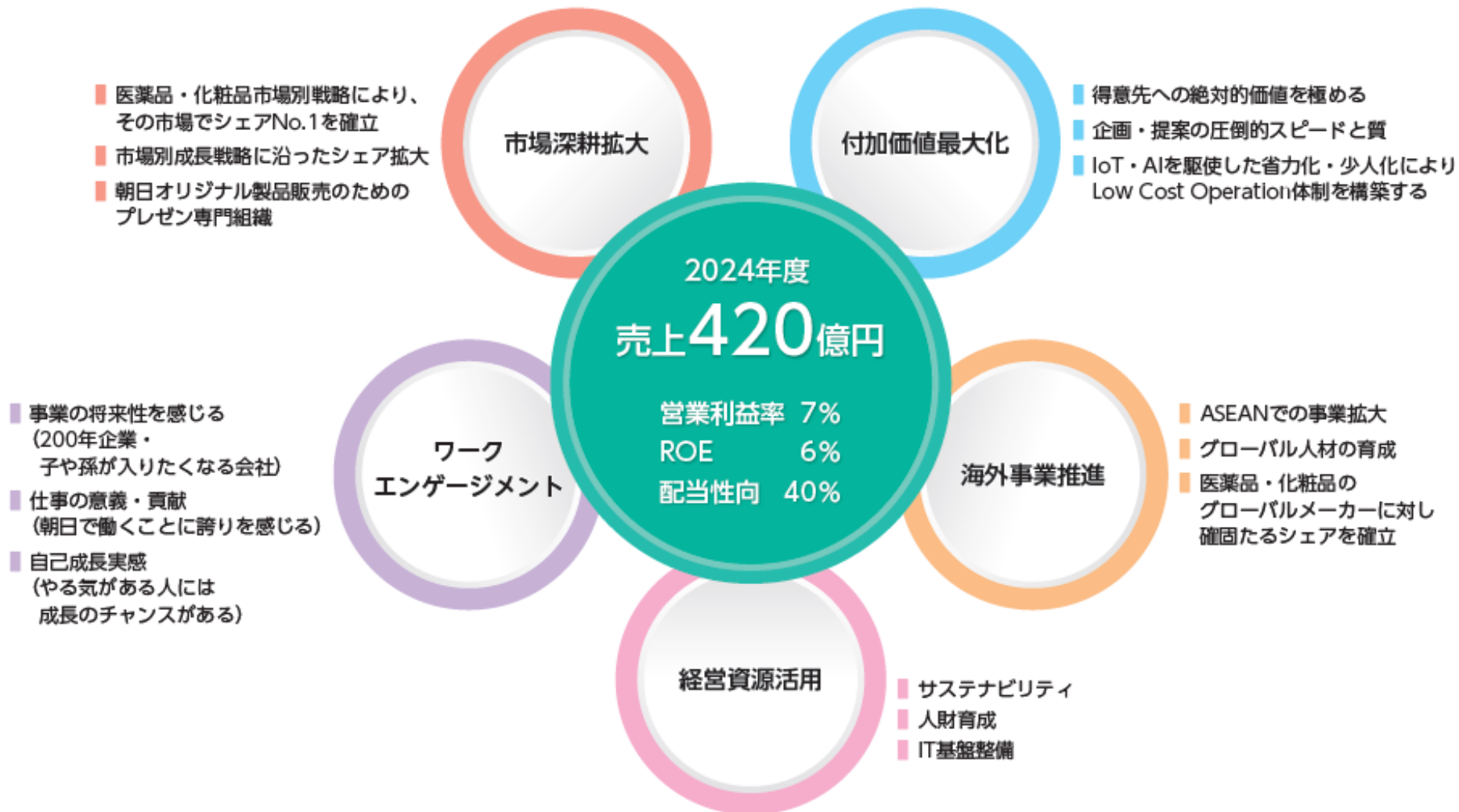
Asahiグループ全従業員が仕事に対して夢とプライドを持ち最高のパフォーマンスを発揮できる体制を構築する

海外事業推進

富山から全世界に向けてASEAN事業拡大と次の市場進出戦略

経営資源活用

Asahiグループ全ての資源・技術を結集しグループ事業全体で最大の力を発揮させる



市場深耕拡大

- 全国営業拠点における得意先ニーズに迅速に対応した営業活動推進
- 市場別の営業戦略明確化および実行（時流に沿った環境変化に対応）
- 朝日オリジナル製品販売強化のため開発マーケティング課を設立

付加価値最大化

- 高水準の品質保証体制の追求
- 印刷包材とデジタルツールを組合わせた新たな高付加価値製品の提案
- IoTを活用し設備稼働状況の見える化を実現。ムダの排除の取り組み実施

ワーク エンゲージメント

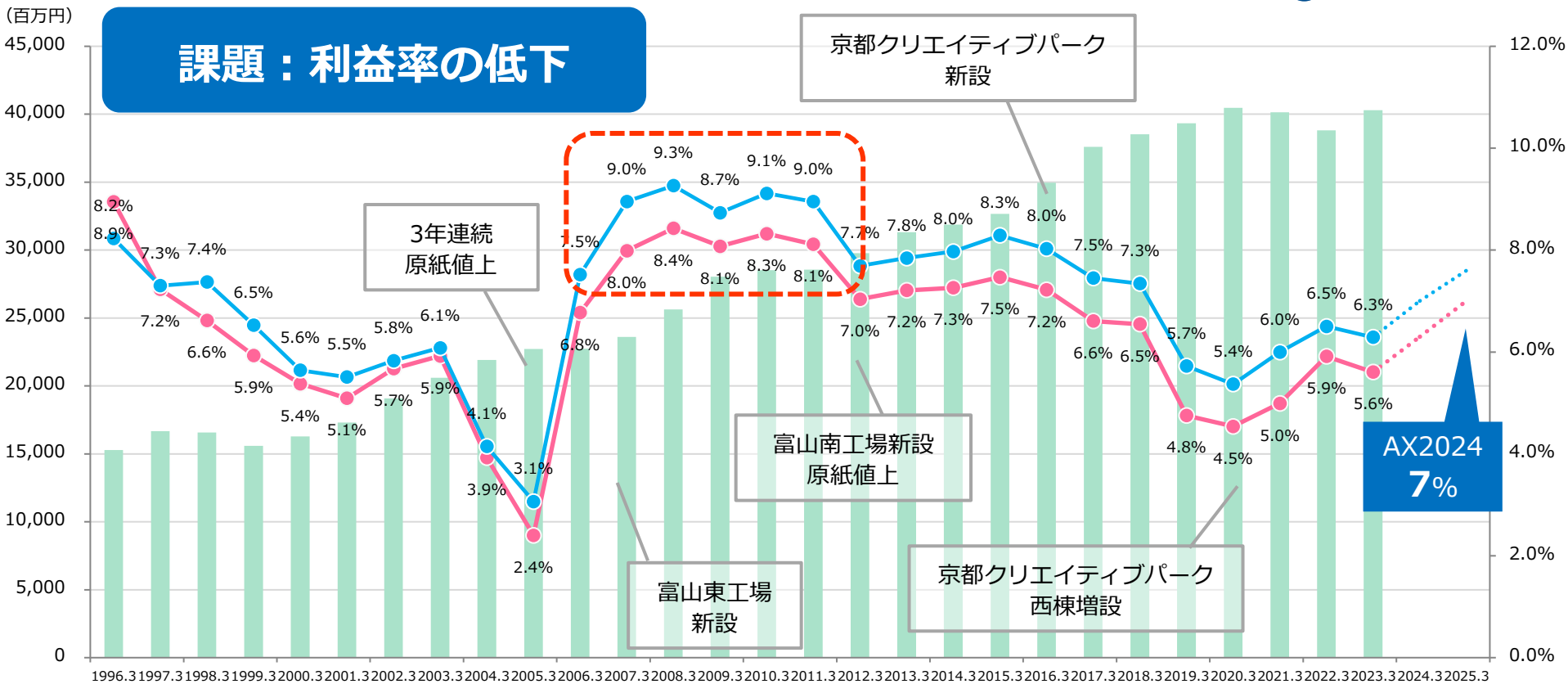
- エンゲージメントサーベイ実施により現状課題の把握
- 人財の採用、教育、評価制度の再整備
- 経営幹部育成を目的とした社内公募型研修の導入

海外事業推進

- ASEANを中心とした市場調査を実施
- 海外子会社とのグループ会社間の技術交流実施
- 海外子会社との連携強化によるグローバルメーカーとの取引深耕拡大

経営資源活用

- サステナビリティ対応強化のために専任部署としてCSR推進室設置
- 人財育成ならびにグループ内の人財交流実現に向けた制度整備
- IT基盤強化を図るためグループミーティングによる課題共有実施



究極の無駄取り = 出づるを制する

【モノ作り方針の転換】

- 増産体制構築により、納期でお客様にご迷惑をかけることは低減された
- 2019年度からは仕掛リードタイムの短縮、在庫低減を徹底し、コスト低減の効果が表れ始めている。

【グループシェアリングへの取組】

- グループとしての資源・資産（人・モノ・カネ・設備）の有効活用により、グループから外に出る費用を低減する。

5. 配当方針について



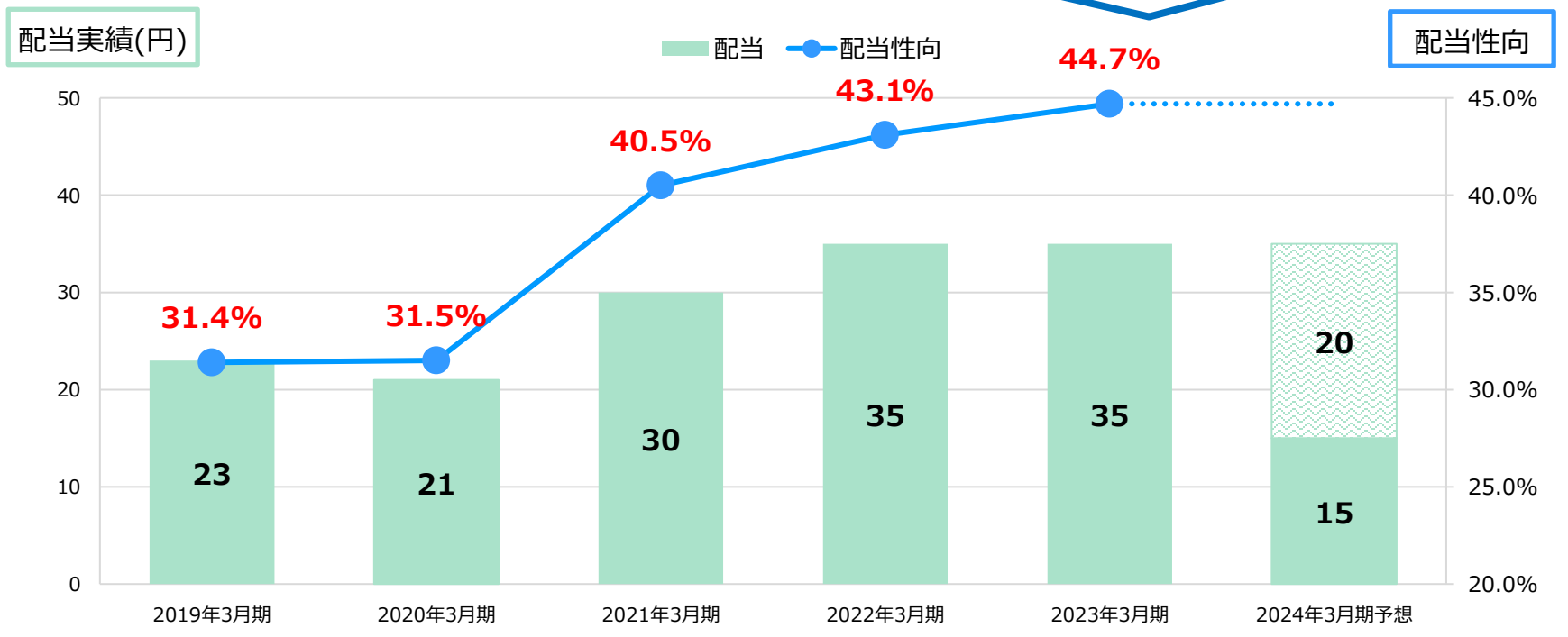
配当方針について

**2023年
3月期
35円**

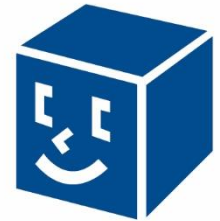
中間配当 1株当たり **15円**

期末配当 1株当たり **20円**

- ◆利益還元を配当で実施することを重要な経営政策と位置付けております
- ◆安定的な配当の継続を基本とし、連結ベースで配当性向 **40.0%** 以上を実施してまいりたいと考えております



ご清聴ありがとうございました！



＜お問い合わせ先＞ 朝日印刷株式会社
経営管理部コーポレート課
TEL : 076-491-6137
MAIL : home@asahi-pp.co.jp
HP URL : <https://www.asahi-pp.co.jp/>

- この配布資料に記載されている業績予想および見通しは、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境等の不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。
- 投資者一般への情報伝達を目的としており、当社の株式その他有価証券等の売買等を勧誘または推奨するものではありません。





6. 参考資料

経営理念

お客様本位を基本とし、
企業の永続成長と従業員の幸福とが
一致する経営を目指します

所在地

富山県富山市

創業

1872年 (明治5年)

設立

1946年5月 (昭和21年)

上場市場

東証スタンダード (証券コード: 3951)

資本金

2,228百万円

主要事業

印刷・包装資材の製造、販売
包装システムの販売、人材派遣

従業員数
(連結)

1,690名 (2023.3月末)

平均年齢

36.1歳 (2023.3月末)



代表取締役社長 朝日 重紀

明治 5年 1872 小沢活版所（個人経営）として現富山県魚津市にて**創業**

昭和21年 5月 1946 富山県にて朝日印刷紙器(株)を**設立**

▶ 昭和30年代前半 医薬品印刷包材に特化

昭和39年 4月 1964 東京営業所（現東京支店）開設

昭和44年 8月 1969 大阪営業所（現大阪支店）開設

▶ 昭和50年代前半 化粧品印刷包材に進出

平成元年10月 1989 富山工場を新設

平成 5年 8月 1993 日本証券業協会に株式を店頭登録

平成14年11月 2002 **東京証券取引所市場第二部**（現スタンダード市場）**に上場**

平成15年11月 2003 富山工場敷地内に富山第二工場を新設

平成20年 6月 2008 富山東工場を新設

平成22年 9月 2010 富山南工場を新設

平成27年10月 2015 **京都クリエイティブパーク稼働開始**

令和元年12月 2019 Shin-Nippon・Harleigh社を子会社化

令和 2年 4月 2020 京都クリエイティブパーク（西棟）増設

令和5年10月 2023 Kinta Press & Packaging (M) Sdn.Bhd.を子会社化



明治 8年 著作権免許之証

■ 国内販売拠点 20 拠点

■ 国内製造拠点

- 富山工場 (1989)
- 富山第二工場・富山第三工場 (2003)
- 富山東工場 (2008)
- 富山南工場 (2010)
- 京都クリエイティブパーク (2015)

 連結子会社



富山工場/富山第二工場/富山第三工場



富山東工場



富山南工場



京都クリエイティブパーク

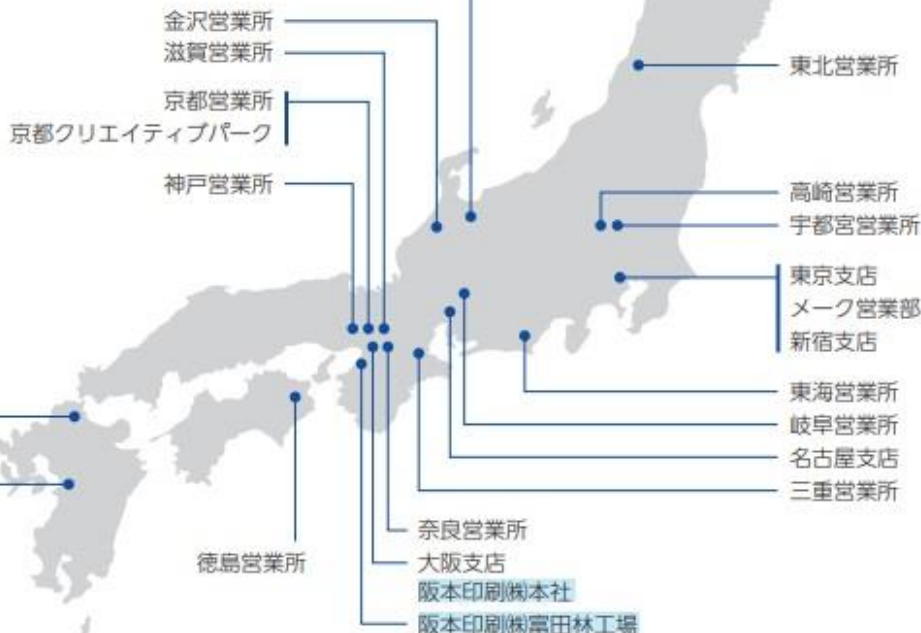
海外拠点 (シンガポール)
Asahi Printing Singapore Pte.Ltd (2012)

海外子会社 (マレーシア)
Harleigh (Malaysia) Sdn.Bhd. (2019)
Shin-Nippon Industries Sdn.Bhd.

Kinta Press & Packaging (M) Sdn.Bhd. (2023)

本社
富山工場
富山第二工場
富山第三工場
富山東工場
富山南工場

富山営業部
協和カートン(株)
(株)ニッポー
朝日人材サービス(株)



東京支店



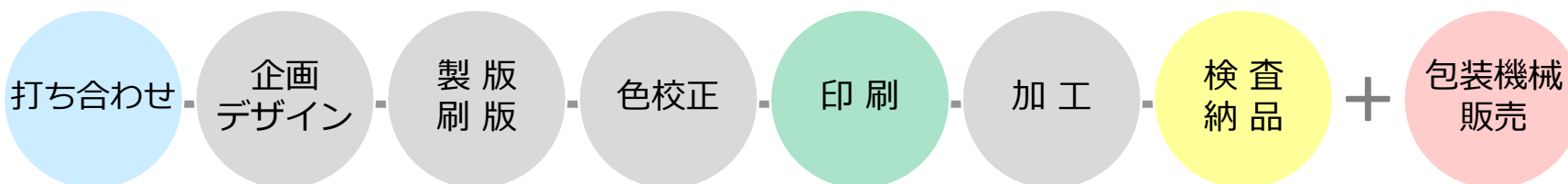
名古屋支店



大阪支店
阪本印刷(株)本社

グループワンストップサービスで同業との差別化を実現

医薬品・化粧品包材の **設計・デザインから製造・包装まで** を自社グループで提供



高い参入障壁

医薬品包材

- 医薬品の一部として人命に関わる包装物
 - ➔ **表示に関する専門的な知識**と薬機法やGMPに準拠した製造が求められる
(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)
- **長年のノウハウ**の蓄積
徹底した品質管理体制と品質保証体制
 - ➔ **高品質**な製品の提供

化粧品包材

- 多種多様な設備
様々な印刷・加工技術
 - ➔ **高付加価値**な製品の提供

京都 C P 増設 東棟・西棟体制へ

医療用に加え OTC・化粧品用が製造可能に

更なるシェアUPへ!!



一貫生産を可能とする充実した設備ラインアップ

水性グラビア印刷機,両面・多色オフセット印刷機
 高速箔押機・同時打抜機・検品機能付糊付機など
 環境に対応した省人・省力設備を導入

初年度売上計画：約10億円
 3年目目標：約30億円 **投資額：約60億円**

京都クリエイティブパークのコンセプト



Creative mind

新たなモノづくりの創生開発

- ◆顧客市場動向を先取りした包装資材生産システムの創造
- ◆機械メーカーとの共同開発を行い、新しい付加価値を提供



Innovation park

革新的な工場

- ◆画期的な省人化ラインと新生産方式の導入
- ◆人工知能(AI)を活用したスキルレス化への取組



Harmony with the environment

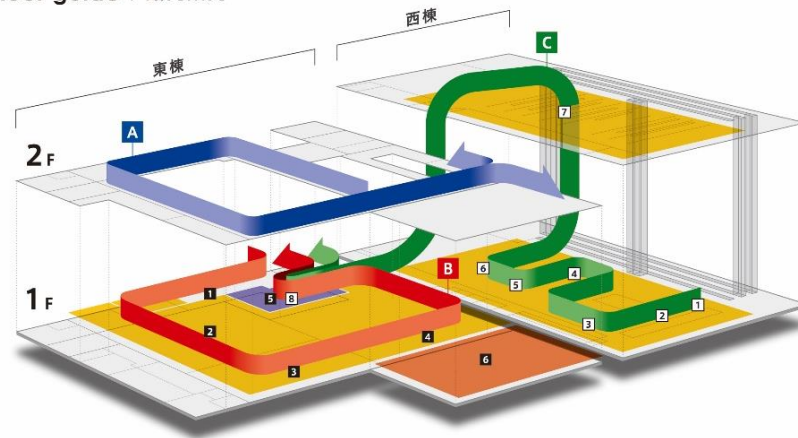
環境との調和

- ◆ISO14001を取得し、環境マネジメントシステムを構築
- ◆CO2削減、リサイクル活動の推進

建設の目的

- ◆富山地区と連携した供給体制を構築
 ➔ **BCP面で更なる信頼向上へ**
- ◆東棟と合わせて医薬品・化粧品向けパッケージ全般を網羅した製造体制
 ➔ **西日本製造拠点の拡充**
- ◆研究開発拠点として朝日印刷の新たなモノづくりを創造

Floor guide | 館内案内



A スタジアム感覚で見学可能なラウンド式見学者通路

B 東棟の製品の流れ

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 原紙・大断工程 | 3 打抜・抜紙工程 | 5 検査・出荷工程 |
| 2 印刷工程 | 4 糊付工程 | 6 厚生棟 |

C 西棟の製品の流れ

- | | | | |
|--------|----------|--------|-----------|
| 1 大断工程 | 3 表面加工工程 | 5 打抜工程 | 7 糊付工程 |
| 2 印刷工程 | 4 箔押工程 | 6 抜紙工程 | 8 検査・出荷工程 |

事業継続計画 (BCP: Business Continuity Plan)

- ◆ コロナ感染症拡大により、継続して取組んできたBCP対応が得意先へのPRポイントへ
- ◆ 課題：国内外含めたグループ内でのサプライチェーンの再点検・高度化へ

国内製造拠点

- 富山工場
- 富山第二工場・富山第三工場
- 富山東工場
- 富山南工場
- 京都クリエイティブパーク 東棟・西棟

グループ会社

- 阪本印刷（ケース）
- ニッポー（添付文書）
- 協和カートン（ケース）



京都クリエイティブパーク



富山工場



阪本印刷株式会社



株式会社ニッポー

- ◆ マレーシアの首都クアラルンプールに次ぐ第2の都市（州） ジョホールバルに位置
- ◆ シンガポールから車で約 30 分、クアラルンプール（首都） から 5 時間程度



◆ 朝日印刷と同じく一貫製造が出来る
 ◆ 品質・モノづくりに対する考えに共感



印刷



大判検査



打抜



箔押



糊付

2023年10月にKinta Press & Packaging (M) Sdn.Bhd.の株式65%を取得し子会社化いたしました

Kinta Press & Packaging (M) Sdn.Bhd.

- ◆ マレーシアに製造拠点を有する印刷会社
- ◆ 高価格帯の化粧品・食品向け製品を中心に幅広い製品群のコンセプト作成から製造・納品までを行う唯一無二の企業として、同国において確固たる地位を確立
- ◆ 高度な技術と製造ノウハウにより、マレーシア国内外において強固な顧客基盤と信頼関係を築いている



<https://www.kintapress.my>

CSRテーマ	CSR重要課題
お客様満足の上	・付加価値向上 ・品質向上 ・研究開発 ・BCP
従業員満足の上	・健康管理 ・安全衛生 ・働きがい ・人財育成 ・人権尊重 ・ダイバーシティ
公正で透明性の高い経営	・ガバナンス(内部統制) ・コンプライアンス ・リスクマネジメント ・情報セキュリティ ・購買管理
次世代へ受継ぐモノ作り	・モノ作りの継承 ・エネルギー ・産廃削減 ・企業文化の継承 ・生態系への配慮
社会との調和	・安定雇用 ・社会貢献 ・文化振興 ・広報活動



朝日印刷グループの企業価値向上と持続的な成長

課題の取組が目指すところ

持続可能な社会の実現に貢献



地域社会への貢献

- ◆安定雇用の継続
- ◆地元プロスポーツ支援
- ◆寄付活動 等



地元プロスポーツ支援



寄付活動